

第1回 CNCP サポーター ミーティングの開催

(特非) シビルNPO 連携プラットフォーム 副代表理事

花村 義久



CNCP が発足して3年、サポーター制度が生まれて1年が経ちました。活動の内容が広がり具体化するにつれて、それを支援してくれる人が必要になって来ています。まだ歴史は浅いのですが、平成28年度の事業計画において、事業を推進する組織力とネットワークの強化の重要性が確認され、それを支えるサポーター制度が設けられることになりました。

新たなサポーターの方に CNCP の活動を知ってもらい、またお互いの交流を図ろうと、今年の4月12日、第1回サポーター ミーティングを開催しました。現在サポーターは約40名ですが、当日の出席者はサポーターのほか、正会員、理事・監事含め25名でした。

ミーティングでは、まず山本代表の挨拶と第1部での各部門の活動内容の紹介が行われました。また第2部では、サポーターの世界を楽しく魅力あるものにしようと、代表から今後の取り組み、新企画の提案があり、その具体的な話題として小松氏の講演「明治150年—どぼくの歴史と文化の発掘」が行われました。

終了後会場を代えて懇親会が行われました。参加のサポーターの方々の専門・活動分野は多岐に渡り様々で、いろいろな専門の話題や夢が飛び出し、話は尽きない状態でした。

ミーティングでは、今まで分かっているようで中途半端だった CNCP 活動の理解が良く出来たと受け止めてもらい、また小松講師の土木という言葉発生への緻密な調査と考察に感動したという感想が多く聞かれました。今後さらにこのような場を通じて交流を進め、理解が深められるようにして行くつもりです。

サポーターの方には、CNCP に関わりあうことによって、シビルマッチやセミナー、CNCP 通信の配信やそこへの投稿、あるいは活動への直接参加など、そのメリットを享受して頂きたいと思います。また、そのようなことを足掛かりに自らの活動領域を拡大したり、社会に対して提言したり、社会的課題解決を行う事業機会を得たりして頂けたら有難いと思っています。もちろん、サポーターであること自身が CNCP の社会貢献活動に参加することであり、そのことにより CNCP の活動も活きたものになることは言うまでもありません。

CNCP としても、以上のようなことを実現しやすい環境づくりをしたいと考えています。制度的なものに加え、サロンのないいつでも気楽に参加できる場によって、沢山の仲間を作って頂きたいです。そして、この触れ合いから生まれる絆の力が、世の中を変える力になってくればこの上もなく嬉しいことだと考えるものです。

